

Pearl Primary Club 11

担当：長谷川亜子

秋風が肌寒く感じられる季節になりましたね。気が付けば、今年度も半分が過ぎ...折り返し地点にやってきました。先日、年長児対象の体験見学会にて...「小学生になると、こんなにみんなのバカ揃うんですね!!」、「フラタムの音読や100玉そろばんを見て、涙が出そうになりました」とのお話を保護者の方から頂きました。子どもたちに伝えると、嬉しそうに反面、プライマリさんだから当たり前!!という表情をしていました(笑)とても嬉しい出来事でしたが、現状には満足せず、もっと...とさらに上を目指していきたいです。子どもたちを認めるタイミングを見逃さず、一人ひとりの成長に繋げていきます(笑)



強化しています☆

週に1回必ず行なっている作文の活動(笑)どんなことをしているのか少しご紹介しませぬ。一人一冊持っている作文ノートを使ったり、作文を書くための導入として教材プリントを使用しながら、活動を展開しています。子どもたちは、このプリント学習が大好きで、楽しく参加してくれています。一方...作文ノートはやはり構えてしまう子が多く...苦手意識が働いてしまうことも。私は、作文に正解はないと思っています。まずは自分が感じたこと、考えたことが書けるように、そして回を重ねるごとに主語と述語が入った文章に慣れていって、正しい日本語や文法が使えるようになったら...と思っています。今しか見られない!!おもしろ作文も長い目で見て頂き、保護者の方にも楽しんで頂ければと思います。

じーつ...(笑)

子どもたちと大切にしていることの一つがアイコンタクトです。相手の空気を読むことができたり、相手の気持ちを汲み取ることが上手なプライマリさん。日常の中で言葉に代わらず、阿吽の呼吸で!!伝わることも増えてきました。これも小学生ならではの力でしょうか...注意や指示を出す前に、なるべく自分で気付いて行動できるように...目と目で会話ができることを楽しみながら過ごしていきます。Ⓧおまけ話Ⓧある日のおやつ時間、私と目が合った1年生4人組。その後、こちらを見てワズワズ笑っている(笑)「どうしたの?」と聞いたところ、「先生、おれたちばかり見てるから、歩く方がカマラみたい!!」と、もう拍子抜けしていた(笑)1年生にアイコンタクトはまだ難しいから(笑)

Pear | Nursery School

10月に「やきいもグーチーパー」の歌をうたい、最後はみんなでジャンケンをしています。グーに強いのは、チョキに強いのは、パーに強いのはと説明をしはから行っているのに、みんなはよくてず、ジャンケンが成立するように、なってきました。1人見クラスの友達はその内と外を出すとすよ!! すごいすよね!!! として、先生に負けたいと思ったら スーッと変える人です(笑) 自分が勝てるように!! として「かった」と喜んでいきます(笑) でも、ここまじ理解できるとは思っていない、所もあついで改めて、子どもたちの吸収する力のすごさを感じました。今は先生対子どもたちなので、子どもたち同士でもできる人だと伝え、子どもたち同士でも遊ばせるように声をかけていきました。集団遊びもその中で、子どもたち対先生だと遊ぶつ



てすか、子ども対子どもはほとんどないのに、子ども同士でも遊びの展開できるように、きりかけ作りをし、子ども対子どもで楽しいことを伝えたいとも思っています。



いるかな〜?!

園庭に来たら必ずこの場所に子どもたちが集まります。何を探しているかという... 「赤ちんダンゴムシです」ダンゴムシという5月なので、この時期は小さいダンゴムシがいて、みんな高中になつて探していて、見つけた友達は手の平の上に乗せて「みつけた〜」と喜んでいきます!! には、5月には大人ダンゴムシになつてほしいので、探してあげたいです。



絵の具の活動

「紅葉」

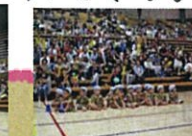
園庭の葉っぱも干しい、画用紙の上に乗せて黄緑→黄色→赤と移りかた情景を表現してみまじにローラーを回すというのが難しかったので、先生の手を添えて一緒に行った時に、こまごま1人で回してもらい、それぞれが絵の具の活動を



楽しんで、まじに園庭に毛みじがあるのが、王冠の緑なので、色が変っていく所を見つけたら、なほと思えます😊

FESTA ありがとうございます!

FESTAにお越しいただきありがとうございます。初めての場所、たくさんいるお客さま、いつもと違う環境の中、涙が子もいるだろうな、もししたら、サーキットも1人では難しい子もいるのでは、なほかと思つていたので、堂々としている子どもたちの姿、かこい!!! と思つたので、次の日FESTAどうだったか聞いたところ「たのしかった」と返事... あつたにたくさんいる中、楽しもうと強い心が育つて感じます。ダンスも毎日踊つていたので、ノリノリ、大好きな家族の方も一緒に、とびきりの笑顔を見られ、私たちも楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます!! 次の行事はUTABUTAI、少し先になります。さらなる子どもたちの成長を見とらえよう、毎日の教育活動を大切にすごしていきます。



先生たちと・・・♪

園庭に遊びに行くとノール幼稚園にいる先生に5人の声をかけてくれますし、こちらからも積極的に遊びに誘い関わりを持てるようにしています!! サングラスはよく遊びの時間が重なると竹内先生に遊んでもらった事務室から園庭を見ていた小林先生も「またまテラスを歩いていた田村先生を呼んで」(たくさん遊んでもらいました)野村学園にはたくさん先生に5人がいるので一緒に遊べる時は遊んでもらい、たくさん先生がいることを知ってもらえたらと思っています♡



↑小林先生と♪

集団遊び♪

10月はよく「しほ取りゲーム」をしていました!! 1回遊んだだけでルールを理解し、2回目は降はとうしたらしほを取らぬかを考えるように、その結果、しほを手で押えたり、しほを前にしてみたり(笑) ちょっとルールちがうんじゃない?!と思う場面もありますが、このうずいさも回数を重ねるごとに慣れて、これも成長の一つかなと先生たちと話していました♡ 写真はバナナおにです、



おににバナナおにバナナになるという遊びです!! 1回しかしてないけどこれから回数増やして行きたいです♪

話をよく聞いています!!

朝の会だったり、帰りの会の時に明日の予定を伝えるようにしています。(朝の会かみんなの揃う時間なので、せこいかなと思いつく方も伝えます。) そうすると、2才児クラスの子たちは「今日は○○だよ! 明日は○○するんだよ♡」とお迎えに来る時に話したり、家に帰った時に話したりするようになります♡ 次の日の活動を伝えることにより、明日も登園するのを楽しみ、楽しみにしてくれたり、家に帰った時に園の話をしてくれたり、お話を聞いて、成長を感じますし、うれしいです♡

- ・クリアファイルは持ち帰った次の日に園に持って来て下さい。
- ・室内は日替わりの薄手のロングTシャツ等をご用意下さい。ロッカー内のものを確認をお願いします。宜しくお願い致します。



熱い眼差し

FESTAでは年長さんのメロポールとソーラン節の練習を見せせてもらってました!! ソーラン節はたいこの音が大きいため泣き止むのが心配で思っていたのですが、誰も泣くことなく、年長さん熱い眼差しで見せました♡ ちゃんとお山座を見ていたのもすごいです♡ 次は音舞台、機会を



みて、見せてもらおうと思いつく!!

かわいい姿♪①

1才児クラスの男の子です♪ みんなで「10アキカ」や「エビカニクス」を踊っていたら1人窓の方を向いています。何しているのかな?と思っただけ窓に映る自分を見て踊っていたんです♡ 不思議だったのですが、ダンスが終わると窓を見て踊っていました♡



かわいい姿♪②

けして叱られるわけではありませんよ(笑) この友達(4時に降園なのでお迎え少し前)に起きたので、先生たちに「さよなら」をしていた時、お迎えの先生が正座だったので友達も正座に…(笑) 寝起きのボーっとしていますか? とてもかわいい姿でした♡



今月の絵本

11月は「まてまてドーナツ」です!! ちょっとしたしかけ絵本で、ドーナツも本物みたいでおいしそうです♡ ドーナツ屋さんを聞いたドーナツさんとドーナツにちがうお話、ドーナツ食べた!!!と言わぬのもしれません(笑)

10月の「しゅくどい」は宿題の意味があまり分かっていないのもしれません。宿題 = だんこと思っている子も(ほとんど)もしれません(笑) 話の内容はみんな覚えてくれた様子です♪ 読むたびに子どもたちから喜んでました(笑)



BaBy Pearl Nursery

October

2019年も残り2ヶ月となりました！今年は、寒かったり、暖かったりと気温の変化が激しい日々が続いています。体調を崩さないように気を付けましょう♪

最近、嬉しいことにお母様方かられんらくアプリやお迎えの際に【おうちでの悩み】をお話しして下さることが増えています！“こんなときはどうしたら…” “お家ではこうなんです…BaBy Pearlではどうしていますか？”等…園での様子をお伝えすると共に、お母様方のお力に少しでもなれたら…と思い、私たちが実践している声かけなどを含めてお返事しています☆お悩み相談はいつでもウェルカムです！ちょっとしたことでも“どうしたら…”と悩んだときには、気軽にお声がけください♪

お・ね・が・い☆

暑い季節から肌寒い日も多くなってきましたね。新しいお洋服を買ってもらい、嬉しそうに見せに来てくれる子どもたち♪そこで…ひとつお願いがあります。

保育園では基本、スカートではなく、パンツスタイル上着はシンプルな物をお願いしております。ですが最近、ワンピースのようなチュニックを着ているお友だちがいます。トイレに座った際に便器の中に裾が入ってしまったり、床に座った際にお友だちが誤って踏んでしまい転倒したりケガに繋がってしまうこともあります。男の子も女の子もシンプルな薄手のロンTなどをご用意下さい。(着替えの際も、子どもたちが自分で出来た！と思えるような脱ぎ着がしやすいものがベストです♪)ご理解、ご協力のほど宜しくお願いします。

Rutile Class

向上心溢れる
子どもたち♪



何でも自分でやりたい！でも「できない…」自分でもどうしたら良いか分からなくなってしまい…「できないの！」「もう、OOバイバイ！！」なんて、言いながら逆ギレ?!「やりたいのにできない」という壁にぶち当たって涙…している姿が見られるようになってきましたね♪時間がなくて急いでいる時に限って…と、パパ・ママたちもどうして良いのか…と心の中で涙(T_T)園では、子どもたちのやりたい！気持ちを受け止め、やり易いようにOOを置いて、さりげなくお手伝いしながら子どもたちに挑戦させています。(やってみないと失敗もしませんよね♪)そして、「お手伝いが必要な時は教えてね☆」と伝え、「やってください…」の言葉を待ちます。ママパパたちは、子どもたちの「やりたい気持ち」を受け入れて「やり方」を通して、子どもたちの『やるやる期』を見守り応援団になってあげましょうね♪少し時間に余裕をもって行動することが一番の解決策かもしれませんね☆



ちょっと難しい…!?
～待つこと・我慢すること～

いろいろなものに興味や関心を持ち、「触ってみたい」「行ってみたい」「試してみたい」と、意欲があふれているルチルさん。分かっているけど…でも、やりたいの！という思いでいっぱいようです。あそびの中でも、もう少し「我慢」する心が育つと仲良くあそべるのになぁ…。楽しくなるのになぁ…。と、思う場面がしばしばあります。そこで！毎日の生活の中でも、あえて「待つ」機会を増やしてみました♪

- ・朝の会で使った椅子の片付けも名前を呼ばれるまで座って「待つ」
- ・オムツ(トイレ)を替える時も並んで「待つ」
- ・夕方のお茶タイムも順番に座って「待つ」
- ・園庭あそびでも、遊びたい遊具の前で並んで「待つ」…etc.

集団生活の中でしか体験できない、お友だちの事を思いながら「待つ」という我慢。

最近では、『みんなの時間だよね♪』などと声を掛けると、「待つ」我慢が出来るようになってきています。そんな毎日の積み重ねを大切にしていきたいな～☆と思っています。ご家庭でも、こんなOOが出来るようになりました！とお子様の嬉しい成長を私たちにもお聞かせ下さい♪嬉しいご報告をお待ちしています。もちろん！こんなことに困っています…というお話しもしどしどしお待ちしております。一緒に子どもたちの『成長』を楽しみましょうね♪

あそびの中に…○○

絵本の世界へ…



少しずつ・少しずつ、先生のお話しやちよっぴりページが多い絵本も、見ること・聞くことが楽しくなり、絵本の世界へ入り込んで見ることが出来るようになってきました。小さな積み重ねを大切にしていきたいと思い、最近はお昼寝をする前の読み聞かせては、イツモノ絵本(目と耳でみるのではなく…)、耳Onlyで言葉を聞く時間として1冊の本を読んでいます。言葉1つひとつが色々な世界を作り出し、しずかーに夢の世界へと入っていく子どもたちです。

先日のGrowingNewsでも、スプーンやフォークの持ち方についてお話しさせて頂きましたが…じ・つ・は…「手首を反す」動作は遊びの中にもたくさんあるのです♪

誰もが知っている「キラキラ星」「きらきら ひかる♪」の部分、手首を繰り返し「反す」表現だけでなく、手首を反す動きを楽しく覚える方法の1つになるのです☆

そして!こんな「あそび」も…。園庭あそびでも大人気の「お砂場」下から握りの練習には…これ!お砂をスコップですくい、砂を溢さないように、少し手首を反しバケツの中へ…☆大人には簡単でも、子どもたちにとっては集中力も必要なこの動き。ちよっとむ・ず・か・し・い…が楽しいこの時期。子どもたちは楽しみながら必要な発達を『あそび』の中で練習しているのです…♪



Beryl Class

Mission★

最近、ベリルさんが挑戦しているミッション「給食を食べている時は、コシボネヲタテヨ。」「フォークやスプーンを持っていない方の手は、オサラニソエヨ。」です。ご飯を食べている時、どうしても背もたれに背中がついてしまい、ダラーンとした座り方になってしまったり、フォークやスプーンを持って

いない方の手が下にブラーンと降りていたり、社長さんのように背もたれに置いていたり…なーんてことありませんか?? BaBy Pearlでも給食の時間、そのような姿がありますが…「あれ?社長さん!」「左手が迷子になっているよ〜。」などと、日々繰り返して声をかけることで子どもたち自身で気付いて、直すことが少しずつ出来るようになってきました!正しい座り方やお皿に左手を添えるだけで、ご飯をこぼさずに食べることが出来るだけでなく、消化が良くなり、吸収力がUPします♪良いことばかりですよ!ご家庭でもぜひ!姿勢がダラーンとなっているなあ…左手がブラーンとなくなってしまっているなあ…と感じたときには、優しく声をかけてみてください☆



もったいない!!

給食後、椅子から降りて机の下を見たSくん。ビックリした表情で「こんなに落ちてる…もったいない。」と一言。机の下には、ポロポロとこぼしてしまったおかずが落ちていたのですが…たとえ少量でももったいないと感じてくれたことに先生は感激(;_;)ココロも日々成長していることを感じ、嬉しくなりました!その後、Sくんは落ちていたおかずを拾いながら「もうこぼさないぞー!」と意気込んでいました☆

魔法の絵本♪

ベリルさんが大好きな集団あそびを紹介します♪今回は…「尻相撲」です!ルールはとっても簡単☆円の中に2人で背中合わせになって座り「はっきよーい、のこった!」の合図で相撲と同じように円の中から押し合って(座ったまま、背中中)出すことが出来た人が勝ちというゲームです。初めは、押し合うことが難しくて、お互いその場でおしりをフリフリと動かしていましたが…(笑)慣れてきて上手く動けるようになってくると、グイグイと本気モードに!観戦しているベリルさんも「がんばれー!!!」と応援に熱が入っています!最近、勝ち負けが少しずつ分かるようになってきて、勝負することが楽しいようです♪



おしりを使って…☆

お帰りの会終了後、毎日ベリルさん全員に読み聞かせをしている絵本「ごいっしょにどうぞ」。この絵本は2人の主人公が同じ絵本を読みたくて、初めは取り合いをしてしまうのですが…先生の行動や声かけでいけないことだと気づき「ごいっしょにどうぞ。」と仲良く読むことが出来るようになるという内容です。この絵本を読んだ後は、必ずみんなで絵本タイムにするようにしています。絵本効果はバツグン♪まるで魔法がかかっているかのようで…子どもたち同士、読みたい絵本が被ってしまったときは「ごいっしょにどうぞ!」と言いながら、仲良く読むことが出来ています☆





パールクラス後期がスタートします！
 入園に向けて、少しでもパール幼稚園を感じて
 いただけるようにいろいろな活動を考えています(^ ^)
 お子さんはもちろん、ママも楽しみにしている
母子分離がスタート！
 お友達と仲良くできるかな・・・？
 ずっと泣いているかも・・・！！など
 心配があるかもしれませんが、
 ママの気持ちはお子様にも伝わってしまいます。
 ドンっと構えて、**笑顔**で送り出してあげてください！

☆否定的な言葉かけはNGです☆

「泣いちゃダメよ！」
 「泣いたらお迎えいかないよ！」と否定的
 な言葉かけをすると、
 パールクラスは嫌な場所というように
 悪い印象がついてしまいます(; ;)
 「〇〇ちゃんに会えるの楽しみだね！」
 と気持ちを盛り上げる言葉かけを
 してきましょう！

☆笑顔でニコッと送り出しましょう☆

泣いているお子様には、
 「大丈夫？泣かないで・・・。」
 「すぐに迎えに来るからね・・・」
 「ぎゅっ！」と
 お子様から離れなれないママがいます。
 名残惜しいのは、よく分かりますが、
 別れる時は、スッと笑顔で
 送り出してあげてください！
 あとは、私たちにお任せください(^ ^)

母子分離
 の
 アドバイス

☆お迎えの時は、ギュッと抱きしめて☆

1時間半、子どもたちは頑張ります！
 お迎えに来た時は、
 「よく頑張ったね！」「ママ、嬉しいよ！」と
 たくさん褒めてあげて、抱きしめてあげましょう。



持ち物 母子分離ver.

おねがい

お子様専用カバン（見えるところに記名を！）
 ・お着替え（全てに記名を！）
 ・汚れた服を入れるビニール袋
 （こちらにも記名を！）

水筒

・お子様が自分で開けて、自分で飲むもの
 ※コップタイプは難しいのでNGです。

ハンカチ

・ポケットに入れましょう。
 ※ポケットがない場合は、ウエストに挟んでください。
 ※ポシェットは引っかけると危険なので、ご遠慮ください。

服装

・動きやすく、汚れてもいい服。
 ・一人で着脱できる服装
 （トイレの時間に着脱を自分でします。）
 ・肌着はロンパースタイプでないもの。

☆全ての持ち物に記名を
 お願いします。

☆携帯電話は必ずお持ちになり、
 着信がわかる状態にしておいて
 ください。

☆お子様を預けてクラスを出る時は
 サッとお願いします。

☆お迎えは5分前にパールクラス前の
 廊下でお待ちください。

☆お帰りの際に、1日の様子のお写真を
 お持ち帰りください。

11月のスケジュール

11/12~15 製作遊び
 11/26~29 知育遊び

☆うた☆
 まっぼっくり

☆えほん☆
 ちびゴリラのちびちび



わが子はどのタイプ？ 気質タイプ別 イヤイヤ期の対処法

面白い記事を見つけたので読んでやってみよう！

子どもは生まれながらの「気質」をもっています。3歳までの行動の7割が気質による影響だと言われてます。

気質はその特徴によって5つのタイプに分けられます。

わが子のタイプを知っていれば、「この子の行動は気質のせいなんだ」と思えて、同じ行動でも愛おしく思えるよになるでしょう！

※特徴の中で当てはまる項目をチェックし、最も多くチェックが入ったところがお子さまのタイプです！ さあ、やってみましょう！

エンジェルタイプ

- いつも笑顔で愛嬌があり、人見知りをしない
- いろいろと目移りし、ひとつのことに集中できない
- 言われたことをすぐに忘れる
- のんびり屋であったりとしていることが多い

エンジェル対処法

気が散りやすくいろいろなことに興味があるタイプなので、「もっと面白いことがあるよ」「次は〇〇に行ってみよう」とさらに魅力を感じる提案をするといいでしょう。その際、「楽しいよ」「おもしろそう」と感情に訴える言葉を意識して使うとより効果的です。相手を喜ばせたい気質なので「〇〇してくれてママうれしい」というメッセージを伝えるのもおすすめです。

テキストタイプ

- 視界に入ったものを指して、親の注意を引く
- 教えたことをすぐに理解し、覚えるのが早い
- おしゃべりが好きで、 が立って生意気
- お母さんの言うことをなんでもよく聞く

テキスト対処法

理由や理屈をしっかりと伝えて説得すること。「お化けが来るら」など曖昧な説明でごまかすのではなく、「こういう理由でママは困っている」「今度しようね」と説明すると納得します。大人の主張が首尾一貫していないと納得しません。また、「どうしてイヤなの？」と理由を聞くのもいいでしょう。理由を聞けば親も納得できますはずです。

アクティブタイプ

- 泣き声が一人大きい
- 周りからよく「元気だね」と言われる
- 高いところに登ったり、なんでも触りたがって目がはなせない
- 叱られても聞いていないと感じることがある

アクティブ対処法

「触れること」に敏感なので、抱きしめたり背中をさすったりしながら話すと、話をよく聞きます。反対に、言葉だけでは何度注意しても、聞いていないように感じることも。「見えること」にも敏感なので、楽しそうなものを目に入ってしまうと「遊びたい」という衝動を抑えられません。抱きかかえて、目の前から話すといいでしょう。

デリケートタイプ

- ちょっとした物音や刺激に反応し、か細い声で泣く
- 静かで落ち着いた環境でなければ眠れない
- 初めての場所になかなか慣れない
- お友達におもちゃを取られても返してと言えない

デリケート対処法

デリケートタイプが「イヤイヤ！」というのは、人がイヤなのではなく環境の変化に不安を感じていることが多いから。場所が変わったりいつもと違う雰囲気だと不安定になって反抗するので、その子の落ち着く環境を作ってあげることが大切です。音が大きく聞こえる特性があるので、小さい声で優しく声をかけるといいでしょう。

ネガティブタイプ

- 何をしても「イヤイヤ！」ばかり言って手がつけられない
- 不快感ばかり主張して笑顔を見せない
- ごだわりが強く、気に入ったおもちゃやタオルを手放せない
- 一旦泣き出すと1時間でも泣き続ける

ネガティブ対処法

一度駄々をこねだすとなかなかおさまらないため、ごだわりのパターンを認識しておく、不規則なことを嫌うので時間や行き先が変わるなら事前に話しておくなどしましょう。イヤイヤを抑えようとする反発する力が働いて、さらに激しくなるので、感情を一旦受け入れてあげることが大切です。

サーキットレポート

2019.11



サーキットのようす☆



最近のサーキットの様子をご報告☆ 10月は3F階を使用できない日が多く... 1回1回のサーキットに気合いが入っているお友だちが 目につきました☆ タッシュでも、とび箱でも、しっかりと自分の目標に向かって取り組む、年中心や年長さんを見て、年少さんもタッシュで1位をとるお友だちも増えてきました。その気持ちも大切に11月も取り組んでほしいと思います☆

10月のクラス別サーキットでは、オセロタッシュととび箱を行って年中心。オセロタッシュでは今までに増して負けたくない気持ちを見せてくれました。毎日のタッシュの成果を感じる成長。前回では、残ればお友だちがチャンピオンになるほど、互いに良い刺激とばかりに思っています。とび箱では、1人のお友だちが前より高い段に飛び乗って初めてとびのお友だちの姿を見て、一緒に喜ぶほどの成長を感じる時間となりました。毎日の積み重ね、目標を高く持ち、サーキットに取り組んでほしいと思います!!

年中クラス

クラス別サーキット☆



年長クラス

クラス別サーキット☆



今回の年長クラスのクラス別サーキットは、とび箱onlyの6段からスタートし、自分との戦い、カバ入りできてほしいお友だちもいました☆、みんな次々とクリアしていき、また、ココが素敵と感じるのが、仲間を応援するとき。年長さんにも自然と声を出したり、お友だちにアドバイスをしたりしています。励みとなりクリアできるお友だちも少くありません。さらに、今回は黒台を使用し9段・10段にも挑戦。9段... 憧れです。10段をクリアしたお友だちはいまだに次回こそは! 楽しみにしています☆

音舞台前は3階が音舞台に様になるため、園庭にてサーキットを行います。再度以下の点、ご注意ください! お願いします。

- * 手・足の爪は伸びていたり、割れていたりしませんか?
 - * レギンスは足首までですか? 大きすぎるものは履いていませんか?
 - * タイツは股がはくちはいけませんので、必ずレギンスでおねがいします。
- 思わぬケガをしないためにもご理解・ご協力をおねがいします。

外サーキット

です!!



音楽のある風景

ロッシーニといえば、《セビリヤの理髪師》や《ウィリアム・テル序曲》で知られる、イタリア・オペラ界の巨匠。《ウィリアム・テル序曲》は、四十代以上の人なら伝説的お笑い番組のオープニングテーマとして記憶に残っているかもしれない。このロッシーニという男、そんなお笑い番組さながら、ヨーロッパ中の人々を熱狂させ、時代を駆け抜けていった希代のエンターテイナーだった。人々を十分に楽しませると、勝手に自分から幕を引き、晩年は美食家として人生を思いっきり楽しんでいる。芸術や人生、あるいは生活について思い悩む人が多いクラシックの作曲家たちの中で、こういうタイプは他にいない。それは残されている写真を見ても分かる。作曲家の写真というと、いかめしい顔をしているものがほとんどなのだけれど、ロッシーニの肖像に限っては、何やら不敵な笑みを浮かべているものが多い。まさに音楽界一の“ふざけた男”なのだ。

ロッシーニは、モーツァルトが亡くなった翌年、イタリア・マルケ州のペーザロという町で生まれ、8歳からはボローニャで育った。父親はトランペットとホルンの奏者で、母親は歌手。つまり、両親とも音楽家の家系だった。ただし、二人とも音楽家としては三流。どちらも他の仕事をしていて、家計は楽ではなかった。

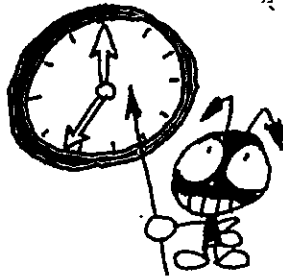
そんな両親のもとで育った彼は早くから音楽に慣れ親しんでいたはずで、8歳頃からは音楽教師に基礎を習い始めている。14歳からはボローニャ音楽院に入学して、楽器や歌、作曲技術などを身に付けていく。やがて18歳の年、ヴェネツィアで1幕もののオペラ《結婚手形》を発表し、オペラ作曲家としてデビューを果たした。その3年後にはオペラ《タンクレーディー》※アルジェのイタリア女》で大成功を収め、早くもその名を世間にとどろかせている。さらに、23歳からナポリのサン・カルロ劇場の音楽監督に就任すると、この地でオペラの傑作を続々と発表、イタリアはもちろん、ヨーロッパ中でロッシーニ旋風を巻き起こすことになる。

全日本合奏連盟 本部長

パール幼稚園音楽講師 山原 正憲



そして時は刻々と過ぎて行く。



その時々、今が大切、その通りだと思っ。



田 士郎

子どもは
どんどん大きくなる。

そこで思うのだが、
本当に今は
今のことだけ
精一杯やっていたら
良いのか？

それとも、
今が未来を
創っていくことを
考えておくのが
大切なのか？

家族の十年など
あつという間だと
私は思っている。

過ぎた十年に
思い出以上のものはないが、



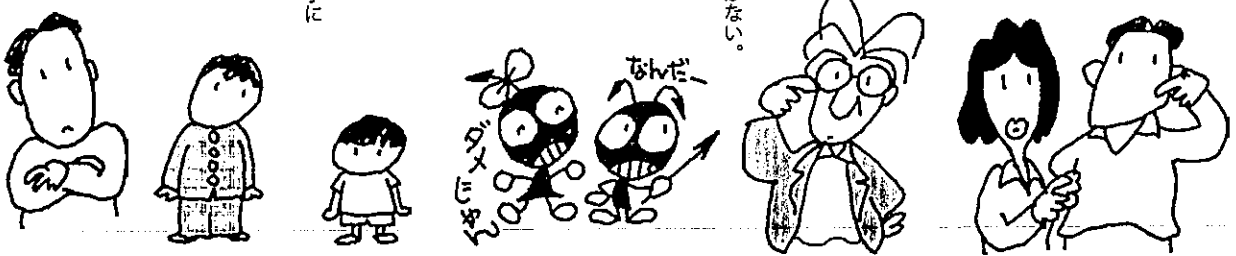
我が子の今から十年を
考えることは、
どの親にもできる
重要な仕事か
含まれていると思う。

本当のところを言えば、
人の未来など予測はつかない。

でも、だから
先のことを考えても
仕方がないと
言えるのか？

十年後は必ず十歳
大きくなっている我が子に

今、親にできることは
ないと言えるのか？



子どもが
親よりも
更に現在に
引きずられて
いるのは
当然だ。

目先の誘惑も
山ほどある。

その損得勘定を
考えているだけで、
子どもの十年後にとって
良い親たり得るか？

無論、世の中の
巡り合わせもあって
確かなことなど
簡単には言えない。



しかし人生は
多くの可能性と
確率でできている。

何もしないところに
転がり込んで来るのは
たなほたの幸運だけ。

多くの場合、
何かを上手くやった人の
日常はそれではない。

子どもに何かを
もたらした親も、
単に運が良かった
だけではない。

流行モノや、
景気の動向だけに
反応しては、
子どもの長い人生の
コーチたりえない。



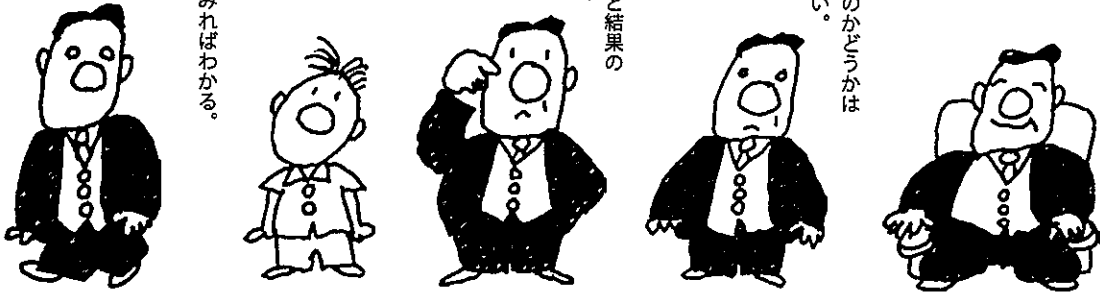
自分の現在を
肯定できる体験の
多い人は幸せだ。

しかし子どもが、
自分と同じように
次の時代を生きるのかどうかは
よく考えた方がいい。

大人は多くの選択と結果の
記憶を持っている。

想像力を駆使してみればわかる。

結局、親は子どもの生きる時代など
知らない古い世代なのだ。

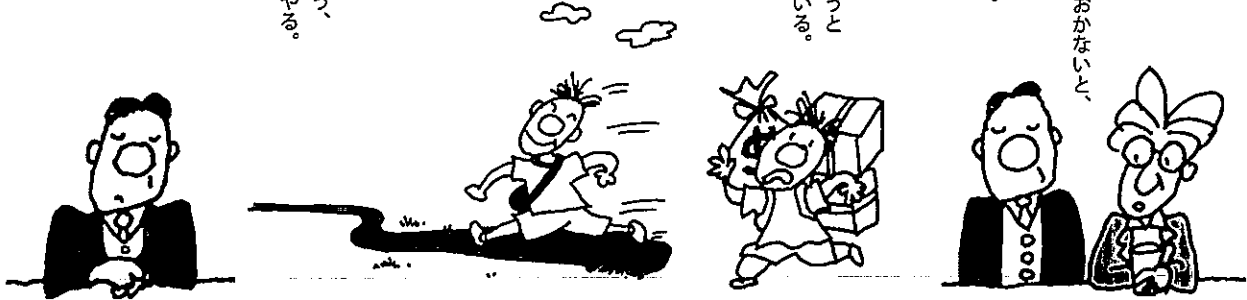


それを噛みしめておかないと、
良かれと思って、
良くないことを
押しつけてしまう。

古い時代の
敷簾や手土産を
いっぱい持たせて、
未来を生きさせよう
というのは馬鹿げている。

自分の時代を
元気に、颯爽と
駆け抜けられるよう、
身軽にしておいてやる。

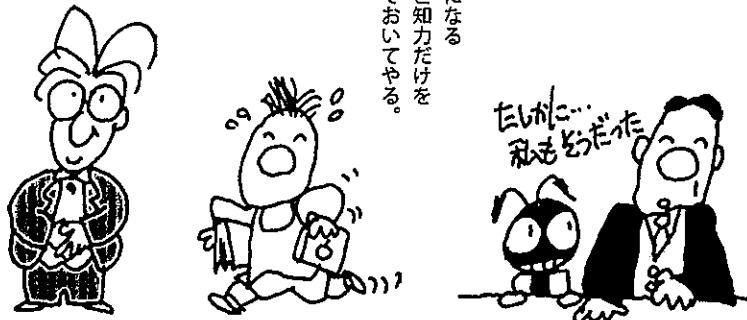
要らぬアドバイス
などしない。



自分には子どもの未来など
知りえないのだと戒めて、

基礎になる
体力と知力だけを
鍛えておいてやる。

そういう親に
なっていたいと思いませんか？



団士郎さんと家族を学ぼう

団士郎さんと家族を学ぶ「家族理解ワークショップ」を年に4回開催しています。一般のママ・パパの参加も大歓迎。ご興味のある方は「家族理解ワークショップ」で検索してみてください。

【木陰の物語】収録の書籍販売中

「家族の練習問題～木陰の物語～」1～7巻
子どもと家族を想う出版社 ホンブロック
<http://www.honblock.net>